

団体名 糸満市立三和中学校	連絡先 TEL : 098-997-2014 Eメール : miwa@miwac.city.itoman.okinawa.jp
-------------------------	--

1 実践事項 ②「今年度の実践」

タイトル：「三和中授業スタイルの実践による学力向上の取組」

2 実践内容

「三和中授業スタイル」

- ① 単元シラバスの作成・学習フィードバック
- ② マイスケジュール管理による家庭学習の促進
- ③ チャレンジテストの奨励

(1) マイスケジュールの活用

今年度は、本校独自のスケジュール帳を制作しその活用に取り組んでいる。各教科での単元テスト、提出物、連絡事項等を書き込むことで先の見通しを立て、計画的に家庭学習に取り組み、学習習慣の確立を目指す指導を行っている。

(2) 単元テスト及びチャレンジテスト(再テスト)の実施

前年度より、定期テストを廃止し各教科が単元テストによる評価を導入している。単元のまとまりごとに定着状況を見とり、指導と評価の一体化を目指している。また、手立てが必要な生徒だけでなく希望する生徒に対してはチャレンジテストを実施し、学校として粘り強く学習に取り組む姿勢を支援する体制をとっている。

(3) サマースクール～自分らしく頑張ればイイ～の取組

今年度のサマースクールは、各教科で希望する生徒を募り、学習における困り感の軽減及びレベルアップに向けた取り組みを目指して実施した。

(4) 学力向上強化月間の取組

今年度は、日常的な授業改善や家庭学習習慣の定着を目指し、日頃の授業で帯活動や話し合い活動の約束ごとをつくるなどの取組を行った。9月は「マイスケジュールをどんどん活用しよう」、1月は「読む・書く・発表する言語活動の充実」を掲げ、学校全体として家庭学習習慣の定着や言語能力の向上をもとに学力向上に取り組んだ。

(5) 学習リーダーを配置した学習座席の設定

話し合い活動等のグループ活動において、学習の核となるようなグループリーダーを意図的に配置することによって授業での活動を活発に行うことができるようにした。毎月の席替えの際には、学級役員と担任が座席を一緒に話し合って決めることによってコミュニケーションを図ることができる。また、学習リーダーが固定化されないよう一人一回は学習リーダーを務めることを目標に毎月の席替えを行っている。



サマースクールの様子(3学年数学)



タブレット端末を活用した話し合い活動の様子(1学年英語)

3 成果

(1) マイスケジュールの活用

2学期の学校評価アンケートにて「マイスケジュールを効果的に活用している」と回答した生徒の割合が54.8%であった。各学年で、生徒の実態に合わせた振り返りや1週間の計画の確認を行っているため、スケジュール管理が定着してきた生徒も見られる。

(2) 単元テスト及びチャレンジテスト(再テスト)の実施

単元テストや実力テストの結果を踏まえ、教員に声かけをされなくてもチャレンジテストを受けようとする生徒が各教科で見られる。粘り強く学習に取り組む自己調整力の高まりがこれからますます期待される。

(3) サマースクール～自分らしく頑張ればイイ～の取組

主体的に学習に取り組んでほしいという教師側の願いから、「先生に習いたい」「苦手をなくしたい」などの生徒の思いを支援する形を提案した。実際に、夏休み期間中にも関わらずどの学年も各教科15～20人ほどの参加が見られ、生徒の学習意欲を感じることができた。

(4) 学力向上強化月間の取組

各教科の取組では、帯活動を設定したり話し合い活動の約束事を決めたりするなど工夫した取組が行われた。

マイスケジュールの活用については、各学年の実態に応じて振り返りを行う形態やタイミングを検討してもらい、より良い実践を学校全体として取り組めるよう模索していく。

(5) 学習リーダーを配置した学習座席の設定

学習リーダーを務める生徒が自覚して話し合い活動を行うことで、議論が活発になり生徒同士でより深い話し合いができるようになってきている。

実際の生徒のマイスケジュール

5 課題

(1) マイスケジュールについては、活用が定着していない生徒や毎日持ってくる事ができていない生徒もいる。そのため、各学級や各教科で教員からの声かけや活用の意義について粘り強く指導していくまた、年度当初に書き方の指導を行うなどの指導も検討していく。

(2) 単元テスト及びチャレンジテストは、教員も生徒も取組の流れが作られているためスムーズに実践することができているが、放課後の時間に教科が重なったり一人の生徒がいくつもテストを受けることになったりする等の課題がある。

(3) サマースクールは、希望制にしたため生徒の人数が多かったり学力のばらつきがあったりした。そのため、教師が支援したい生徒に時間をかけることができない教科もあった。

(4) 学力向上強化月間中は、マイスケジュールを各指導ができていたがその期間外ではなかなか時間をかけることができなかった。年間を通して効果的なマイスケジュール活用の定着を図る取組を行っていききたい。